

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス こくぶ太陽の子		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 14日		～ 令和8年 1月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 14日		～ 令和8年 1月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動プログラムが固定されず、様々な活動を行うことができている。	・標準化されたプログラムではなく、お子様の特性やスキルに基づきカスタマイズした活動を提供。 ・活動内容に変化を持たせながら、保護者様、お子様の御意向を活動に反映している。 ・活動時もお子様の意思の尊重、自己選択・決断の場を取り入れている。	・スタッフ個人の強みも活かし、活動の幅を広げる。 ・周囲にもアンテナを張り、社会資源を生かしながら様々な事業所と関係性を深め、新たな活動や交流に結び付けたい。 ・今後も保護者様とお子様の御意向を確認しながら、満足度へつなげる。
2	・スタッフ間の連携が図れており、風通しの良いチームであること。	・スタッフの意見等を把握する機会を設けており、業務改善につながっている。 ・お互いの仕事量を確認し合ったり、業務以外の話もし、円滑なコミュニケーションが図れている。 ・各スタッフの思いや考えを大切に、実践することを意識し取り組んでいる。	・様々な事業所と情報交換を図り、いい取り組みを太陽の子風にアレンジしながら、知識を高めていく。 ・スタッフ間での情報共有を密に行い、お子様の小さな変化等を見逃さない体制作りにも努める。 ・現在のスタッフが、やりがいをもち楽しく仕事を続けていけるよう、現場の声をキャッチし、より良い職場環境を作っていく。
3	・業務改善に取り組むためのPCDAサイクル(目標設定と振り返り)をスタッフ間で意見を出し合うことができ、PCDAサイクルの流れがスムーズに行うことができている。	・朝礼、昼礼等、毎日お子様の様子を振り返り、情報共有し、支援の検証や改善点を話し合い、支援に反映している。 ・常に今だけではなく「お子様の未来」を見据えた支援体制が整っている。	・引き続き、支援前のスタッフ間での情報共有を強化し、当日の支援のポイントや配慮点等確認し支援の方向性を統一していく。 ・モニタリング会議や個別支援計画書を定期的に見返し、必要な支援を常に考え、実行と振り返りの充実を図る。 ・保護者様にも共感していただけるよう、支援内容や取り組み等より伝わるよう情報発信に工夫していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・御家庭と統一した支援の取り組みや情報の共有ができていない。	・保護者様に課題や支援のアプローチをお伝えするようになっているが、統一した取り組みが継続的にできていない。 ・公式ラインにて情報発信をしているが、確認をしていただけていなかったり、直接連絡をいただくことがある。 ・情報発信の公式ラインにて、全体へ周知できていると思っているが、うまく周知できておらず認識に差が見られる。	・日頃から保護者様と密なコミュニケーションを図り、お子様の生活能力が高められるよう、具体的な支援の手立てをお伝えしたり、定期的に課題について情報交換をしていく。 ・お知らせについて、解釈の行き違いや見落としはないかが直接お伝えするようにし相互理解に努める。 ・爪切りや準備物等、基本的な取り組みから、定期的にお伝えをするようにし、伝わりやすい表現や文面作りにも努める。

2	<p>・定期的な行事の開催が難しい。</p>	<p>・スタッフ体制の変化や業務のバランス等で、綿密に話し合える時間の確保が難しい。 ・はやと太陽の子や心和の郷との交流活動を増やしている。</p>	<p>・アンケートを取りながら、保護者様、お子様の御意向の確認をしていく。 ・業務改善を行いながら、安定的な体制を維持し、保護者会やきょうだいの方とのレクリエーションの機会作りをしていく。 ・業務内容の見直しを図り、気持ちの安定に努める。 ・心和のカラーをもっと活かせるように心和で連携を図り、できる体験や交流を増やしていく。</p>
3	<p>・男性スタッフがないため、同性介助ができない。</p>	<p>・女性スタッフのみであることから、トイレの所作やプライベートパーツに関する支援が難しい現状である。</p>	<p>・引き続き、お子様と同じ空間に2人きりにならないようにする。事前に同意を求める等、お子様に意思の確認をし対応をしていく。 ・性教育を続けながら、お子様へ正しい知識を伝えていく。</p>